

学期 / Semester	2021年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 3
開講期間 / Course duration	2021/04/01 ~ 2021/09/27		
必修選択 / Required / Elective	必修 / required	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer/Overseas)	2.0//2.0
時間割コード / Time schedule code	20213803016001	科目番号 / Course code	38030160
科目ナンバリングコード / Numbering code	ID-ID-2-160-1-133		
授業科目名 / Course title	工学倫理 / Engineering Ethics		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	梅津 佑太, 諸星 彰三 / Morohoshi Shiyouzou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	梅津 佑太		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	梅津 佑太, 諸星 彰三 / Morohoshi Shiyouzou		
科目分類 / Course Category	共通科目, コミュニケーション		
対象年次 / Intended year	2	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[総合]総合教育研究棟2F多目的ホール		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	2年次		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	idsci_all@ml.nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室/Office	工学部1号館4F 情報工学コース非常勤講師控室		
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業終了後またはメール		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	情報技術が社会および自然に及ぼす影響や効果に関する理解や発言、行動そして作製品を通じた、技術者として社会に対する責任を自覚し、強い倫理観と思考する能力および安全についての素養を身につける。 学部のディプロマポリシー「情報データ科学者としての倫理とセキュリティ意識を有している。」に対応する。		
授業到達目標/Course goals	社会を造り、社会に貢献する一方で、自然・環境と調和の取れる技術者・工学者としての自覚と倫理観を獲得するために、事例は時事、資料などを用いた講義と、人の多様性を理解させる討論や意見交換を行い、受講者が自分自身の課題として捉えられるように意識づける。「正義」を実践する最低レベルとしての「法令遵守型倫理」を学ぶ。また、2011年の3.11東日本大震災後に強く問われた当事者意識ある思考力と「価値共有型倫理」を理解する。 情報データ科学部の学修到達目標「情報データ科学者としての倫理とセキュリティ意識を有する。」に対応する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法/Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	以下の基準を両方満たしたとき合格とする (1) 小テストまたはレポートを全て提出し、その評点の平均が60%以上 (2) 全回出席		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 前回の講義を受け、次の講義で説明されるテキストの該当箇所に目を通しておくこと。(2h) 復習: 講義内容について、テキストや参考書を読んで復習し、理解できない点は図書やインターネットを用いて調べ、それでもわからない点は友人や教員に質問し、解決すること。(2h)		
キーワード/Keywords	技術者倫理、工学倫理、責任のレベル、法令遵守型倫理、価値共有型倫理、予防倫理学習		
教科書・教材・参考書/Materials	教材(配布)、参考書(掲示)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	
備考 (URL) /Remarks (URL)	授業担当：諸星彰三
学生へのメッセージ/Message for students	現代社会における問題点を考えておくこと。授業の日程については掲示等で別途指示する。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回 (イントロダクション)	技術者論、イノベーション、リーダーシップなど
第2回 (技術者倫理とは)	技術者倫理の位置づけ。その必要性と到達目標を理解する。
第3回 (最近の情勢)	技術者の国際資格と倫理、学協会の倫理規定。国、企業、大学の対応など(例題1)。
第4回 (技術者の責任)	技術者の責任。倫理と法。
第5回 (倫理と技術支援)	変化する倫理観と説明責任(例題2)。
第6回 (倫理問題事例への取り組み方)	グループ討論の奨め、問題討論の流れ。
第7回 (倫理問題解決に必要な能力)	倫理的想像力、争点の認識力、分析・評価能力(例題3)。
第8回 (倫理問題解決に必要な能力)	倫理的想像力、争点の認識力、分析・評価能力(グループ討論)。
第9回 (倫理問題解決に必要な能力)	責任感覚とモラルの障害の認識、曖昧さの許容と根気(例題4)。
第10回 (倫理問題解決に必要な能力)	責任感覚とモラルの障害の認識、曖昧さの許容と根気(グループ討論)。
第11回 (倫理問題の事例の分類と対処法の発見法)	線引き問題と決疑論、相反問題と創造的中道法。
第12回 (倫理問題事例の対処法の評価方法)	功利主義と費用対効果分析(例題5)。
第13回 (倫理問題事例の対処法の評価方法)	個人尊重主義と黄金律、権利。
第14回 (まとめ)	総復習、技術者の心得、発展学習 (映像作品鑑賞)
第15回 (全体の評価と指導)	全体の評価と指導